

桐生春まつり 桐生新町町立て祭・四二三年

おおのはちえもん
～大野八右衛門没後四〇〇年～

平成26年3月22日(土)から4月6日(日)まで

桐生市ホームページ <http://www.city.kiryu.gunma.jp>

町立て

検索

3月22日(土) 13:00
鳳仙寺本堂

大野八右衛門追善祭

桐生新町の町立てを行った大野八右衛門を偲び、和泉清司高崎経済大学名誉教授による講演会等を実施。(12時より屋台にて軽食の販売あり)

3月23日(日) 桐生天満宮

織都千三百年記念大祭

織都桐生一三〇〇年を記念した神事を実施。
(神事については関係者のみ)

3月22日(土)～4月6日(日) 10:00～16:00
(月曜日は休み)
有鄰館(煉瓦蔵)

桐生新町歴史展

桐生祇園祭・屋台襖絵展第二弾

本町及び横山町の巨大屋台の十二枚組襖絵、金屏風など八種七十枚のほか、庄内松山藩所蔵「桐生陣屋絵図(複製)」を展示。

4月6日(日) 10:00～17:00
有鄰館(煉瓦蔵)

門外不出 大野八右衛門寄進大太刀

「御蛇丸」一日限りの特別展

大野八右衛門が大國魂神社(東京都府中市)に寄進した2mの大太刀を特別展示。

3月22日(土)～4月6日(日) エリア内各店舗など

桐生新町ひなまつり

家々で持っている江戸時代から現代まで種々のお雛様を店先などに展示。
(展示場所については別刷雛マップをご覧ください)

【同時開催】まちなか博物館

各店の歴史を思わせる古い写真や看板・道具等の展示。

3月22日(土)～4月6日(日) 各協力店舗

雛うどんの販売

ひなまつりをイメージした、見た目も美しい「雛うどん」を販売。
(協力店舗の詳細は別刷雛マップをご覧ください)

3月22日(土)～4月6日(日) 菓子処「舟定」店舗

桐生名物 創作「山葵餅」の販売

昭和初期に存在していた「山葵餅」のパッケージを基に、新たな「山葵餅」を期間限定販売。

3月22日(土)・23日(日)・29日(土)・4月5日(土)・6日(日)
有鄰館(からくり人形芝居館)

桐生からくり人形芝居上演

天満宮の御開帳に由来する「からくり人形芝居」を上演。(30日(日)は演目入れ替えの為休演 見学は可能)

上演演目(常時)曾我兄弟・羽衣伝説 (三月)忠臣蔵 (四月)助六

上演時間 10:30～11:30
13:00～14:00
15:00～

3月22日(土)・23日(日)・29日(土)・30日(日)・4月5日(土)・6日(日)
有鄰館集合

桐生新町・社寺めぐり

桐生新町と関係が深い社寺を、ガイドの案内により歩いて巡る。
(有料 一人400円) 一回目 10:00～二回目 13:30～

3月23日(日)・29日(土)・30日(日) 17:00～
有鄰館(煉瓦蔵)

【特別協賛】絹の美・伝統芸能祭

「いきの文化 江戸と桐生」をテーマに江戸の古典芸能や桐生の伝統芸能を上演。
(入場無料・要整理券 詳細は桐生市ホームページをご覧ください)

3月22日(土)～4月6日(日) 翁蔵

「翁蔵」一般公開

「鉾座」一般公開 11:00～15:00

3月22日(土)～4月1日(火) 参加各店舗

「2014年春、まちなか展覧市」

【同時開催】町立て祭とものづくりの舞台を巡る
街旅スタンブラー(22日(土)のみ)

4月5日(土) 天満宮・買場通り・本町三丁目

桐生三大市

天満宮古民具骨董市・買場紗綾市・桐生薬市

4月6日(日) 本町六丁目

本六ふれあい市

10:00～15:00

その他の協賛イベント



ひなうどん (一例)



桐生新町ひなまつり



2mの大太刀「御蛇丸」



祇園屋台襖絵

主催 桐生新町町立て祭実行委員会

共催 桐生市

後援 群馬県

群馬県教育委員会

桐生市文化協会

桐生商工会議所

桐生倶楽部

桐生青年会議所

群馬大学理工学部

上毛新聞社

桐生タイムス社

NHK前橋放送局

群馬テレビ

エフエム群馬

FM桐生

桐生の絹遺産活用実行委員会

伝統と創造、粹なまち桐生

協力 府中市教育委員会

大國魂神社(府中市)

大久保長安の会(八王子市)

酒田市教育委員会

実行委員長 斉藤 雄一

問い合わせ (〇二七七) 四六一一一

桐生市役所

(重伝建まちづくり課・

産業政策課・

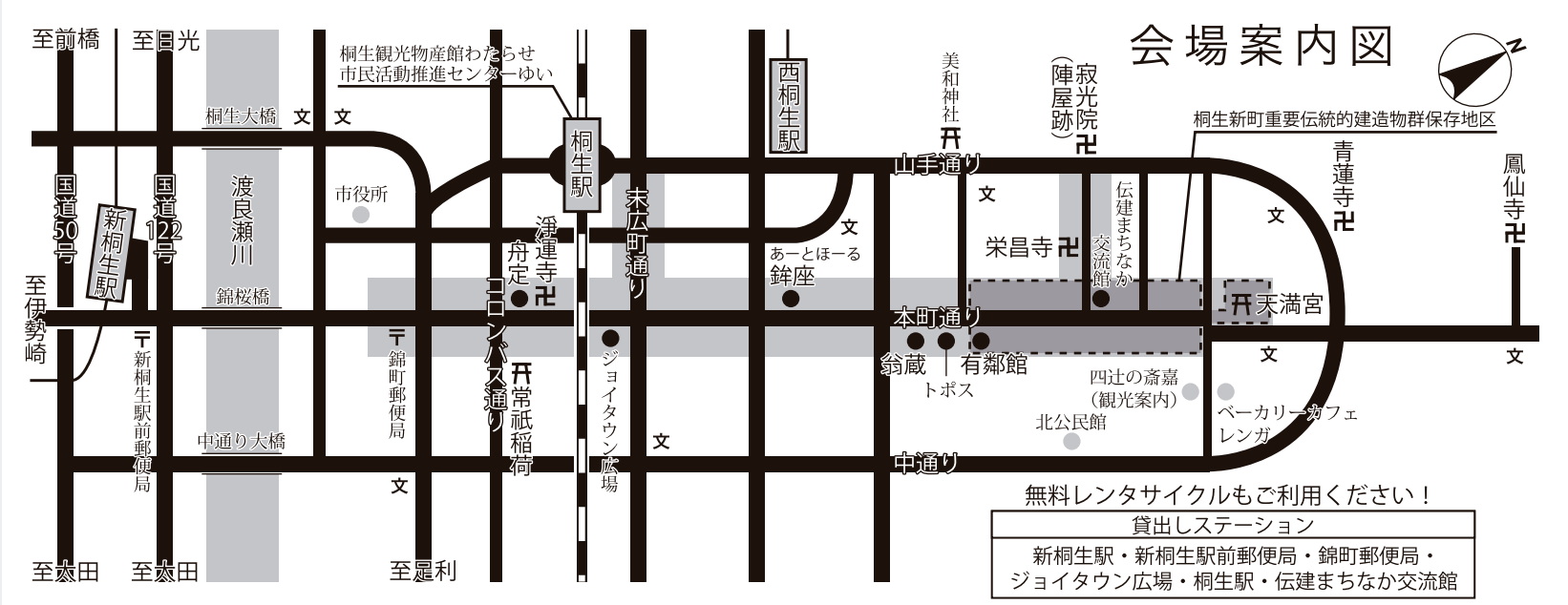
観光交流課・

文化財保護課)

桐生新町町立て祭は、まちに賑わいを取り戻すため、「桐生発祥の地、桐生新町」に誇りを持ち、先人が築いた歴史文化を地域の宝として再認識しながら大切に守り育むために、毎年春に桐生のイベントの一つとして開催しています。桐生新町は「徳川家康」の命をうけて、八王子の代官「大久保長安」の手代「大野八右衛門」が派遣され、天正19年(1591)より慶長11年(1606)にかけてつくられました。基点に天満宮を遷座し、止めには浄運寺を配した、神様と仏様に守られた町です。その後、安永8年(1779)には、庄内松山藩「酒井忠休」の所領地となって陣屋が設けられるなど、歴史的な繋がりがあり、現在も酒田市松山町(山形県)、八王子や府中の皆さんとの交流が続いています。

開催スケジュール

名称	時間と場所	3/22 (土)	3/23 (日)	3/24 (月)	3/25 (火)	3/26 (水)	3/27 (木)	3/28 (金)	3/29 (土)	3/30 (日)	3/31 (月)	4/1 (火)	4/2 (水)	4/3 (木)	4/4 (金)	4/5 (土)	4/6 (日)
大野八右衛門追善祭	鳳仙寺本堂 13:00～	●															
織都千三百年記念大祭	天満宮		●														
桐生新町歴史展	煉瓦蔵(有鄰館) 10:00～16:00	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
「御蛇丸」特別展	煉瓦蔵(有鄰館) 10:00～17:00			休						休							●
桐生新町ひなまつり	エリア内店舗など (日時は各展示場所による)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
雑うどんの販売	各協力店舗 (各店舗の営業日時による)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
創作「山葵餅」の販売	菓子処「舟定」 (3/22は鳳仙寺の追善祭でも販売)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
桐生からくり人形芝居上演	からくり人形芝居館(有鄰館) 10:30～11:30・13:00～14:00・15:00～	●	●						●	▲ 舞台裏見学のみ可						●	●
桐生新町社寺めぐり	有鄰館集合 10:00～13:30～	●	●						●	●						●	●
絹の美伝統芸能祭	煉瓦蔵(有鄰館) 16:30 開場 17:00 開演		●						●	●							



桐生新町とは、現在の
本町一丁目から本町
六丁目と横山町を含む
町の範囲で、現在の桐生
の礎とも言える場所です。
町立て(町を造ること)に際しては、地区の
北東に天満宮を遷座し

て起点とし、南西には浄
運寺を配しました。現在の
本町通りにあたる幅
五間(約10m)の道を通
し、道の両側には間口六
七間(約12～14m)、奥
行き四十間(約80m)と
いう短冊状の敷地割が
なされる、計画的なまち
づくりが行われました。

大野八右衛門は、武蔵
多摩郡横山村(現在の
八王子市)で生まれ、八
王子の代官大久保長安
の手代として桐生新町
の建設に携わりました。
八右衛門は、慶長十
五年(一六一〇年)に天
満宮に宝殿を奉納した
後、真相は定かではあり

ませんが、大久保長安の
不正疑惑により始まった
政変に巻き込まれた
ちようど四百年前にあ
たる慶長十九年(一六一
四年)三月二十二日に処
刑されたという記録が
あります。
なお、八右衛門の墓
所は現存せず、供養の墓
碑が鳳仙寺にあります。

桐生新町町立て祭実行委員会

第一区、第二区、第三区、第八区、第十区、本町一～六丁目各町会、横山町町会、末広町町会、錦町町会、商進会、商盛會、本町三丁目商店街振興組合、本町四丁目商店街振興組合、中央商店街振興組合、本町六丁目商店街振興組合、末広町商店街振興組合、錦町商店街振興組合、桐生商店連盟協同組合、天満宮、浄運寺、栄昌寺、鳳仙寺、ファッションタウン桐生推進協議会、NPO 桐生再生、NPO 本一・本二まちづくりの会、買場紗綾市実行委員会、無鄰館文化講座、桐生からくり人形芝居保存会、糸や通り友の会、メイトバザール実行委員会、かんのんまちづくりの会、安吾を語る会、一店一作家プロジェクト、(株)都市環境研究所、桐生おりひめ倶楽部、桐生市総合政策部重伝建まちづくり課、産業経済部産業政策課、産業経済部観光交流課、管理部文化財保護課